

重要取組シート

ICT イノベーション推進室

取組項目		システム標準化の推進	
現状・課題		<p>○システム標準化は「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、令和 7 年度末までの完了を目標として全庁的に移行に向けた取組を進めてきた。</p> <p>○一方、全国的なシステム開発事業者のリソースひっ迫による開発又は移行作業等の遅延の影響を受け、令和 8 年度以降の移行とならざるを得ないシステムも生じている。このため、国は当該システムについて令和 12 年度までに標準準拠システムへ移行できるよう積極的に自治体を支援するとしている。</p> <p>○本市では、令和 7 年度までに 6 業務（5 システム）の標準化移行を完了している。残る 14 業務（8 システム）については、令和 8 年度以降に順次移行する予定。</p>	
取組の内容		<p>○標準化が必要な対象業務のうち、令和 8 年度は 8 業務（5 システム）の標準化移行に向けて庁内関係部局と連携しながら取組を進める。</p> <p>○標準準拠システムへ円滑かつ安全な移行を実現するため、国の支援を的確に把握しつつ、標準化に伴い必要となる経費について着実な財源の確保を図る。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> (5月) 住民基本台帳など 5 業務（2 システム）の標準準拠システムを稼働 <input type="checkbox"/> (6月) 令和 9 年度 国の施策・予算に関する提案・要望	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> (11月) 児童手当業務の標準準拠システムを稼働 <input type="checkbox"/> (1月) 介護保険業務の標準準拠システムを稼働 <input type="checkbox"/> (3月) 子ども・子育て支援業務の標準準拠システムを稼働	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> (令和 10 年度) 障害者福祉など 6 業務（3 システム）の標準準拠システムの稼働	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	
	寄与する KPI	my door OSAKAの利用登録者数 [現状値：2,641 人（2024 年度）]	目標値（2030 年度） 60,000 人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正をすべての人に
	寄与する KPI		目標値（2030 年度）